

# 新たな交付金、地域に戸惑いは

## 町長 必要に応じ活性化のための支援を行う



菅原俊一 議員

### ◆地区コミセン◆

#### 移行後の実績は

**問** コミュニティセンター移行後の実績は。

**町長** 新たな事業も展開され、26年と29年の利用率を比較すると、件数で143%、人数で122%増となっている。

#### 推進交付金、戸惑いも

**問** 創設された地域づくり推進交付金は対象事業が多岐にわたり、地区では戸惑いがある。

**町長** 財政的支援のほか、必要に応じて地域づくり事業の情報交換や研修の場などを作り、活性化のた

めの支援をしていく。

#### 取組みの現状は

**問** 新交付金の使い道と、各地区の取組みの現状は。

**企画政策課長** 検討中かと思う。事業ごとに分割申請が可能で、件数は現在1件。

#### 丁寧な説明を

**問** 丁寧な説明とサポートは尽くされたか。

**企画政策課長** 事務局の方々には制度設計から関わってもらい、予算可決後、センター長や経営主体会

長にも説明している。今後事業立案について相談を受けながら対応していく。

#### 情報の共有を

**問** 各コミセンの事業が地元以外に伝わらないが、各地区の取組みを知られば刺激になり力になる。町報などで紹介してはどうか。

#### 企画政策課長

ホームページには毎月のセンター報は掲載しているが、他地区の活動は見る機会が少ない。提案を踏まえ、町報等を活用して各地区の活動なども分かるように取り組んでいく。

### ◆シラタカ・レッド◆

#### 全国展開の方策は

**問** 全国に「日本の紅(あか)をつくる町」を広めるための方策は。

**町長** 町ホームページのほか、福島県をはじめ宮城県や新潟県など、近県向けのテレビ放映などで露出度を高め、誘客に取り組んでいく。

#### 関連商品の展開は

**問** 2月発表のシラタカ・レッド関連商品の売れ行きと今後は。

#### 商工観光課長

現在、目に見えた売り上げには至っていないが、今後、道の駅での販売や首都圏への展開も考えている。また、ふるさと納税返礼品としても検討している。

#### 文字通りの拠点に

**問** 十王に完成した拠点施設には、歴史展示や体験コーナーなどを設けるべきと考えるが。

#### 町長

紅花の歴史パネルや着物、本の展示、加工体験、教育旅行の受け入れなど、「日本の紅(あか)をつくる町」白鷹を体験できるような施設になることを大いに期待する。



鮎貝コミセンまつり



各コミセンの連携強化をはかれ！